

日本バプテスト連盟

東北地方連合壮年会ニュース

平和や原発を学ぶ 次世代に何を残すべきか



全国壮年大会へ誘い合っ
てぜひ参加しましょう

全国の壮年が一堂に会して交流する「全国壮年大会in東京」の全容が明らかになりました。既にポスターや大会案内が皆さんの教会に届いていると思いますが、全国壮年大会のHP (<http://sonen.net/>)でも詳しく報じられております。ことしの大会のテーマは「人と人のつながり」で、なにやら東北連合壮年大会のテーマ「ねっぱす」を連想させますね。日程に合わせて宿やチケットの手配をお願いします。

全国壮年大会連合は日本バプテスト連盟に加盟する教会、伝道所の壮年が交流親睦を深めると共に相互の啓発をはかり、伝道活動に積極的に協力し合うことを目的としています。連合の目的は教会形成、伝道者養成の働きのため壮年同士が相互啓発をはかること。そのために研修、情報交換の実施、「全国壮年大会」の開催があります。東北の壮年の皆さんの積極的な参加を心からお願い申し上げます。

平和を作り出すための学習会 沖縄米軍基地問題を学ぶ ～南光台教会～

戦後制定された日本国憲法はすべての法律や条約に優先すると私たちは理解しています。しかし、沖縄の米軍が起こした事件は「日米地位協定」によって日本国民の主権が



蔑ろにされ続けています。沖縄の問題を学び、無関心の危険を訴える学習会（南光台教会主催・SBD協賛）が6月13日午後2時から南光台教会（仙台市泉区・代務者鈴木輝秋兄）で開催されました。講師に鈴木兄の元同僚で宮城学院の元教員水原潔氏を招き沖縄の戦後史を学びました。

宮城チーム主催



「放射能汚染を考える
～木村真三氏の講演から～」

今回のミニアゴラでは、木村真三氏（獨協医科大学国際疫学研究室）の講演映像を分ち合い、意見交換をします。
どうぞお気をつけてご参加ください！
※参加費はなし。教会ごとに参加人数をお知らせください。

◆日時：2015年6月12日（金）
18:00～20:00

◆場所：仙台基督教教会

公開宮城チーム会議-仙台-

被災地支援活動の前提として放射能汚染の知識はとても重要です。宮城チームでは福島「復興」の意味や放射能汚染の現実について木村真三氏（獨協医科大学国際疫学研究室）の講演会動画記録を



いっしょに鑑賞して、課題を共有する会議「ミニアゴラ」が6月12日午後6時から仙台教会（小河義伸牧師）で開催されました。心を合わせて被災地のために祈りました。